

十一月の俳句

(2 0 2 2 / 1 1)



目次

歳時記俳句	モーロク俳句	たべもの俳句
1	8	13
＼	＼	＼

1 1月の他の別名
神楽月・子月・霜降月・雪待月・建子月・暢月
・達月・復月・神帰月・天正月

(宇佐美保幸)メール・yasuyuki.usami@gmail.com

毎日の俳句は次のブログに
巣鴨とげぬき徒然俳句
<https://blog-haiku.777usami.com>

十一月電車暖房微妙かな
十一月ホテル早くもディナーショー
神無月猫のびのびと我もまた
定例のはんこ押すだけ神無月

黄落や我が身考え鬱気分
さねかずらコロナと誤解迷惑し

和菓子屋に日の丸掲揚文化の日
文化の日爪切りをして終わりけり
文化の日終活目指す本を買う
実物大ガンダム動く文化の日

富士塚に登り息切れ紅葉散る
七五三横断歩道手を上げて

冬に入る貨物列車が深夜二時



冬に入るされど新宿人が湧く
冬に入る垣根剪定忙しく
永遠に「考える人」冬に入る

温暖化不安不安の冬ぬくき
血圧は高く南天実の真っ赤

我が庭の隅に浮き立つ石路の花
忘れられされどしぶとく石路の花
石路の花ぶつきらぼうに不器用に
暮れ残る瀬戸の島にも石路の花

破れ芭蕉有終の美求めけり
時雨忌やスカイツリーも点滅し

八代亜紀久しく聴かず花八手
世話焼きであれこれそれと花八手
地味なれど存在感が花八手



朝一番パソコンニュース花八つ手

道掃くが日課となりし柿落葉

気まぐれに気が向きました返り花
我が庭も草取り終わり冬構

ときめきてあの世誘う冬紅葉
いつのまにここから先は冬紅葉
華やきて雨が降れども冬紅葉
寂聴さんあの世の愛は冬紅葉
鬼気迫る攻める枯色枯蟪蛄

短日にブログ原稿精を出し
短日や抛り所なく疲れけり

熊手のみそれで商い酉の市
バスを降りそこは木枯らし家路まで



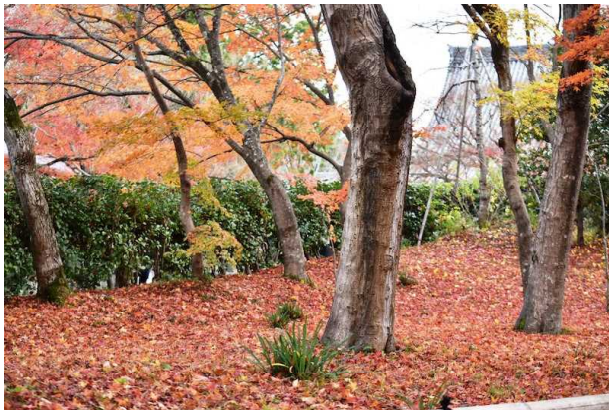
三島忌や尖閣諸島騒がしき

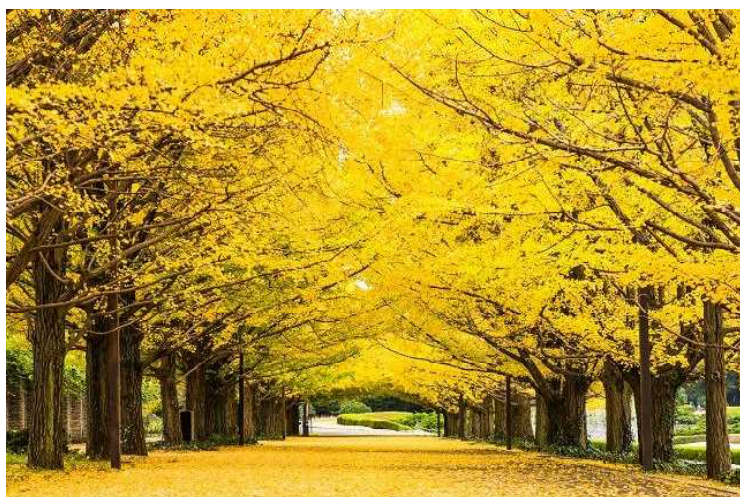
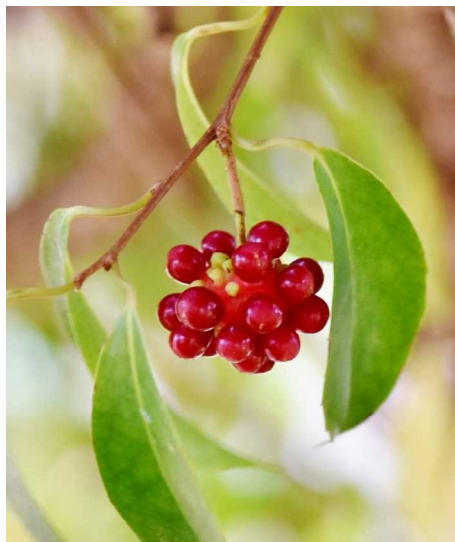
パソコンに「枯葉」流れる枯葉降る
枯葉散る行方不明になりにつり
枯落葉ドローンのごとく空を舞う
コンビニに枯葉一枚迷子なり

初時雨小さな庭に恵あり
時雨かな雨そして雨静かなり

心なしバランスを取るか落葉する
落ち葉してさらなる落ち葉落ち葉して
落葉どき団地掃除の日曜日
落葉にも命ありけり落葉踏む
スニーカー落葉踏むとき考える

枯れの色枯れの芒の孤独かな
千両がつやつや日暮れ早けれき





モーロク俳句

神は留守深き欲望モーロクす

モーロクし独りよがり神の留守

モーロクしされど欲望神は留守

モーロクし明日を望みに玉子酒

モーロクし心で泣いて石露の花

運頼みモーロクすれど石露の花

モーロクしさらに不器用石露の花

モーロクしぐらりと揺らぎ花八手

モーロクしどこかが軋む花八手

モーロクし狸となりて日々過ぐす

モーロクしこの枯れざまは蒲の穂や



モーロクし冬のはじめはあの世かな
立冬やモーロクすれば耳乾く
立冬やモーロクすれば骨疼く

モーロクし言葉数減り冬に入る
モーロクの俳句浄土や冬に入る
モーロクし行きつ戻りつ冬に入る
手も足も脳もモーロク冬に入る
モーロクし背丈ちぢみて冬に入る

モーロクし愛を捨て去り冬来たる
冬が来て硬直する身モーロクし

モーロクし気づきもせず隙間風
散る木の葉モーロク世界入り来る

モーロクしよそ見ばかりの落葉かな



モーロクし落葉のように息をして
モーロクし過去踏みしめて落葉道
モーロクし入れ歯そろそろ落葉期

モーロクし夢は一睡公孫樹散る
銀杏落葉モーロクリスク踏み滑り

朴落葉空の乾きにモーロクす
柿落葉散文的にモーロクす

モーロクし足もとあやし初氷
モーロクし心ささくれ初氷

心なしモーロクすれど冬支度

モーロクし感動もなく返り花
モーロクし友の名忘れ返り花
モーロクし笑い忘れて返り花



モーロクしおじやおじやの暮らしかな
モーロクしされど投票落葉焚

枯葦原なびきモーロク眠られぬ
冬空に物分かりよくモーロクす

モーロクし我に勤労感謝の日
モーロクしまなざしふやけ枇杷の花

モーロクしいつか帳尻片時雨
モーロクし無駄な考え片時雨
モーロクし死に顔思い真夜時雨

北風や雲ひとつなくモーロクす
冬めきぬただひとり言モーロクし

モーロクしモーロク妻と蜜柑むく
モーロクし人間卒業冬の百舌



たべもの俳句

雑炊を好む男の過去如何に
初時雨蜆ラーメン大盛で

キャッシュレスおにぎり二つ文化の日
夫婦してカップラーメン文化の日

老いたれど沢庵を噛み健やかに
たくあんを噛んで勤労感謝の日
たくあんにこだわりありて昭和の人

チキンカレーやはり自家製冬隣

冬に入るコーンスープを並々と
冬来る東坡肉をほろほろに
袋麺冬来たりなば常備して



ボジョレ・ヌーボー何を考え日本来て

みそ合わせ赤身鮪のなめろうを
ビビンバを底より混ぜて冬が来る

ブロッコリースピードマリネ和風だし

豆板醤効かし炒めるレンコンを
レンコンを炒めピリ辛豆板醤

過去未来長寿大国冬林檎

大根の葉っぱを刻みふりかけに
大根と豚肉炒めみそ醤油
生きるとは面倒なこと大根煮

今川焼ほっかほかを手みやげに
白菜を茹でて絞って無限かな



元左翼今は右翼で海鼠かな

切り干しに揚げを加えてお味噌汁
自家製の切り干し作る男いて

焼き芋を好きか嫌いか考える
トロトロッかぶのそぼろ煮味噌味で

コンソメでカブとベーコン炒め物
甘辛にセロリこんにやくきんぴらに

シンプルにポークカレーを初時雨
自然薯やいつかは切れる赤い糸

朝食のトーストの焦げ冬時雨
冬の朝かゆにとろりと卵みそ

袋麺白白づくし塩ちゃんこ





